

プロテオーム解析入門実習

2 単位 (選択) 1 年 (後期)

Introductory practice of proteomic analysis

坂口 末廣・教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 谷口 寿章・教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座
 蛭名 洋介(授業責任者)・教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 内山 圭司・准教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座
 湯浅 智之・准教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座

【授業目的】疾患原因の解明と新しい治療法の確立を目指したプロテオミクス研究の実践的研究能力を高める。

【授業概要】二次元電気泳動・高速液体クロマトグラフィ・高感度質量分析計による自動的な構造解析法・分子間相互作用解析法などプロテオーム解析に必要な基礎実験の実習を行う。

【履修上の注意】e-learning 学習は扱っていない

【授業計画】

	大項目	担当
1.	授業ガイダンス+プロテオーム解析入門実習序論	蛭名
2.	蛋白質について (1)	内山
3.	蛋白質について (2)	〃
4.	蛋白質の電気泳動原理と Western blot(1)	湯浅
5.	蛋白質の電気泳動原理と Western blot(2)	〃
6.	質量分析法の原理	谷口
7.	ゲル内消化	〃
8.	質量分析法の実際	〃
9.	データベース検索	〃
10.	蛋白結合と情報伝達について (1)	坂口
11.	蛋白結合と情報伝達について (2)	〃
12.	結合分子の同定法について (1)	〃
13.	結合分子の同定法について (2)	〃
14.	免疫共沈法の原理と手技 (1)	〃
15.	免疫共沈法の原理と手技 (2)	〃

【成績評価】出席状況・実習態度・レポート等により評価する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217575>

【連絡先】

⇒ 他の教員についても、e-mailにて時間調節の上、面談してください。